



概要

平取町は、人口5,819人の過疎地域であり、小中高校生の通学、高齢者の通院・買い物等住民生活に不可欠な交通手段は、路線バス、町営バス、スクールバス等に依存している。しかし、年々、利用者も減少しており、町営バスを含めた生活路線バス維持のための負担金やスクールバスの運行委託経費等が財政を圧迫する要因ともなっている。このため、路線バスと町営バスを効率的に運行して利便性の向上を図り、高齢者などの交通弱者に配慮した交通体系に整備するため調査検討を実施する。

地域公共交通の現況

- ・道南バス(株)(地域内11路線、都市間2路線)
- ・町営バス(本町～川向線、貫気別～芽生線、貫気別～旭線)
- ・スクールバス:2路線
- ・国保病院通院のための送迎ワゴン車

地域公共交通の課題

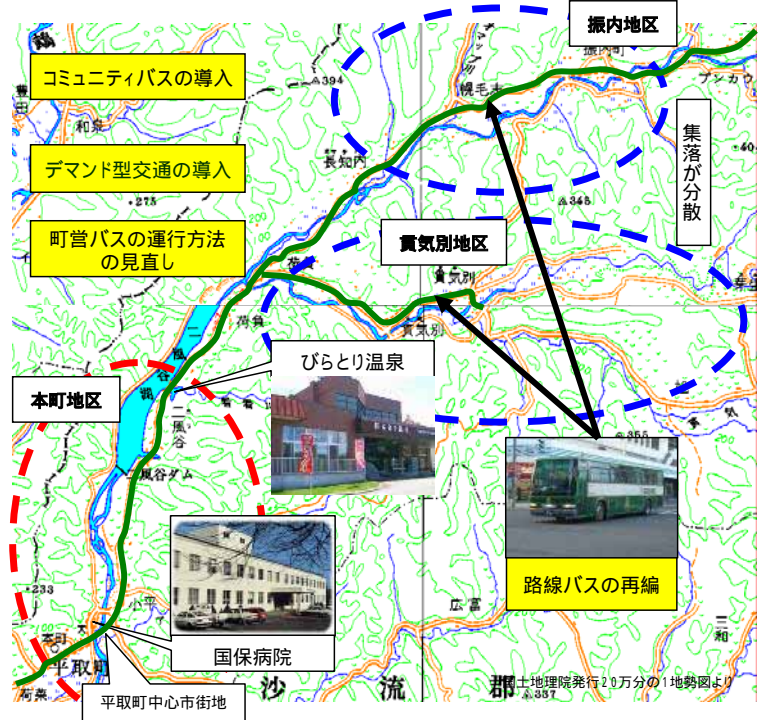
- ・路線バスと町営バスの利用低迷
- ・路線バスのバス停までの距離が長く、利便性が低い
- ・高齢者等、交通弱者の足の確保

調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・コミュニティバス・乗合タクシー等の試験運行

策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・コミュニティバスの導入
- ・デマンド型交通の導入
- ・路線バスの再編
- ・町営バスの運行方法の見直し



平取町地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

主な調査の実施内容

- 現況交通実態調査
 - ・路線バス、町営バスの運行図、時刻表を基にバス交通空白地域・空白時間帯の調査及びバス利用実態調査を実施。(H21.6～7月)
 - ・交通事業者を対象に、現状の課題や懸案事項、今後の展望等の把握を目的としたヒアリング調査を実施。(H21.6.16・29)
- 利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
 - ・町内全域から抽出した500世帯に対し、交通手段等の移動実態や満足度、要望等の把握を目的としたアンケート調査を実施。(H21.7.3～21)
- デマンドバス試験運行
 - ・路線バス利用困難な地域住民を対象に、移動需要や住民ニーズの把握を目的としたデマンド型交通の試験運行を実施。(H21.11.16～22)
- その他の調査等
 - ・連携計画に地域の意見を反映させるため、住民説明会を開催。(H22.2月)

協議会開催状況

5回開催

分科会等開催状況

-

回数は平成21年度未までの開催予定

予定している連携計画の内容

- デマンドバスの導入・既存バスのデマンド化(実施主体:平取町、実施時期:H22～)
 - ・路線バス利用困難地域住民の移動手段を確保するため、新規路線を設定しデマンドバスを導入。
 - ・町営バス、路線バスの運行を効率化するため貫気別地区、振内町地区を運行するバスをデマンド化。
- 路線バスの見直し(実施主体:道南バス(株)、実施時期:H23以降)
 - ・利用実態や住民ニーズ等を踏まえたバス運行形態への見直しにより路線バスの運行効率化を図る。
- バス利用の付加価値の向上(実施主体:平取町商工会、平取温泉、平取国保病院、実施時期:H23以降)
 - ・商工会、平取温泉、平取国保病院との連携によるバス利用特典クーポンの発行によりバス利用の促進とともに商店街等の活性化を図る。
- 利用促進に向けた取組の実施(実施主体:平取町、実施時期:H22～)
 - ・利用促進パンフレット、チラシ、ポスター等による情報発信、住民意見交換会等を実施。

自己評価のポイント

利用実態調査、アンケート調査、試験運行等により必要な調査を行うとともに、法定協議会において住民説明会も行いながら合意形成を図っている。

二次評価の方向

- 次に掲げる点についてアドバイスする。
 - ・デマンドバスの導入や路線バスの見直し等に当たっては、法定協議会における協議等を通じて関係者との合意形成に努めること。
 - ・町内の交通体系全体のあり方をグランドデザインし、路線バス、町営バス、スクールバス等の役割分担等を明確にすること。